



＼2019年春スタート／

南三陸アクティブラーニング

「今」を「^{ミライ}」につなぐ旅

主体的な学びを南三陸の若者と

テーマ1 **防災**

“あの日”を超えて。次の「もしも」に備えるためには？

学習効果

- ① 震災当時学生だった町民の体験を聞くことで震災を自分ごとに捉える。
- ② 自分たちで取り組める防災、減災について考えるきっかけになる。
- ③ 被災の現場を訪れることで、災害の恐ろしさと復興の現状を知る。

01

現場視察

当時使用された避難所、生き延びるために走った避難所などを実際に歩く。

ポイント①

五感で知る被災地のリアル

02

講話

当時、中高生だったスタッフによる「あの日」の体験談。避難所や仮設での生活、その後のあゆみについて。

03

ワークショップ

震災に備えるために、どのような防災・減災対策が必要なのか。当時学生だったスタッフと一緒に考える。

ポイント②

3.11で起きたトラブルを参考に、未来の災害について考えます

04

発表

自分たちが取り組める防災、減災アクションを宣言。



学習
効果

- ①「地域課題」とは何か。考えるきっかけになる。
- ②自らの身の回りにある課題や問題に気づく。
- ③課題解決に向けて動く方々から、問題へのアプローチの視点を学ぶ。

01 >>>

現場視察

課題となっている現場を訪れ、その原因や状況を知る。

ポイント①

10年後、様々な地域で発生しうる課題を学ぶ

02 >>>

講話

課題に対する現時点での取り組みなどについて、実践者から学ぶ。

03 >>>

ワークショップ

自分の身の回りの課題を見つけ、その問題点と自分を取り組める解決策を考えるワークショップ。

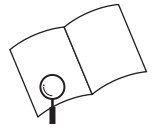
ポイント②

10年後、様々な地域で発生しうる課題を学ぶ

04 >>>

発表

自分たちでは気づけなかった考えをグループでシェア。



学習
効果

- ①新しいチャレンジをする人との交流で探究心を刺激する。
- ②自分も取り組める新しいことについて目を向けるきっかけになる。
- ③自らの生き方、将来について考えるきっかけになる。

01 >>>

現場視察

移住、起業した方の元を訪れ、どのような暮らしや仕事をしているのかを知る。

ポイント①

都市→地方、
大手→起業・移住
大きな決断の裏側とは

02 >>>

講話

移住に至った経緯や現在の暮らしなどについて。生き方を変える、決める際のきっかけをテーマにした講話。

03 >>>

ワークショップ

自分自身の将来や進路について、明日から始められる行動を考える。

04 >>>

発表

普段、学校ではなかなか話せない将来について、お互いにシェアする時間。

ポイント②

自らの夢を口に出すことが未来への第一歩

プログラム料金・留意事項	<input type="checkbox"/> 期間：通年
<input type="checkbox"/> 料金：¥3,000/1名	<input type="checkbox"/> 所要時間：2時間30分～3時間
<input type="checkbox"/> 定員：40名（最少10名）	※10名以下の場合は10名の料金で催行可